

| | |
|------------------|--|
| Title | ジョン・ロックと外国人の区分およびその政治的含意 |
| Sub Title | Locke, aliens, and punishment |
| Author | 沼尾, 恵(Numao, Kei) |
| Publisher | 慶應義塾大学 |
| Publication year | 2020 |
| Jtitle | 学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | <p>本研究の目的は、17世紀イギリスの思想家ジョン・ロックの外国人のとらえ方を明らかにすることであった。具体的には、『統治二論』において、ロックが、友好的な外国人と、敵対的な外国人を想定していたことを明らかにし、その区分の思想史的な意義と現代におけるレレヴァンスを、特にアメリカの移民問題等の文脈でのレレヴァンスを、検討していくことであった。またこの区分がロックの処罰権の議論とどのようにかかわってくるのかも明らかにすることを、本研究では目指していた。</p> <p>本研究は、海外ジャーナル掲載を最終目的としていた。助成期間中、論文にまとめたものをアメリカのトップ・ジャーナルに提出したが、ミスマッチなどもあり、リジェクトされた。しかし、有意義なコメントをもらえたので、修正を手掛けた。また、本研究を日本イギリス哲学会で発表する予定であったが、研究大会が新型コロナウイルスの影響を受けて中止となってしまったため、発表のめどが立たなくなった。また、助成期間後になるが、まとめた議論を新進気鋭の若手ロック研究者と意見交換する予定であったが、そのイベントも新型コロナウイルスの影響で延期となってしまった。</p> <p>しかし、研究は着実に進んでおり、論文掲載という見える形での業績は出せなかったものの、大きく先進したと確信している。</p> <p>The aim of this project was to examine Locke's conceptualization of aliens, especially in the Two Treatises of Government, and to explore its implications for contemporary issues concerning immigration. More historically, the research also looked at how Locke's discussion fitted in with others in the history of political thought. And more internally, it consider what his thoughts on aliens implied for his discussion on punishment.</p> <p>The research resulted in a paper, which was submitted but rejected. Based on the comments, the paper was revised and was prepared for a conference, but the conference was postponed/cancelled due to the developing coronavirus situation.</p> <p>While the research has not yet been published, significant progress was made.</p> |
| Notes | |
| Genre | Research Paper |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190272 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

| | | | | | | |
|---|-------------------|------------------------|--------------------------|-----------|-----|------------|
| 研究代表者 | 所属 | 理工学部 | 職名 | 准教授 | 補助額 | 100 (C) 千円 |
| | 氏名 | 沼尾 恵 | 氏名 (英語) | Kei Numao | | |
| 研究課題 (日本語) | | | | | | |
| ジョン・ロックと外国人の区分およびその政治的含意 | | | | | | |
| 研究課題 (英訳) | | | | | | |
| Locke, aliens, and punishment | | | | | | |
| 1. 研究成果実績の概要 | | | | | | |
| <p>本研究の目的は、17世紀イギリスの思想家ジョン・ロックの外国人のとらえ方を明らかにすることであった。具体的には、『統治二論』において、ロックが、友好的な外国人と、敵対的な外国人を想定していたことを明らかにし、その区分の思想的意義と現代におけるレレヴァンスを、特にアメリカの移民問題等の文脈でのレレヴァンスを、検討していくことであった。またこの区分がロックの処罰権の議論とどのようにかかわってくるのかも明らかにすることを、本研究では目指していた。</p> <p>本研究は、海外ジャーナル掲載を最終目的としていた。助成期間中、論文にまとめたものをアメリカのトップ・ジャーナルに提出したが、ミスマッチなどもあり、リジェクトされた。しかし、有意義なコメントをもらったので、修正を手掛けた。また、本研究を日本イギリス哲学会で発表する予定であったが、研究大会が新型コロナウイルスの影響を受けて中止となってしまったため、発表のめどが立たなくなった。また、助成期間後になるが、まとめた議論を新進気鋭の若手ロック研究者と意見交換する予定であったが、そのイベントもコロナウィルスの影響で延期となってしまった。</p> <p>しかし、研究は着実に進んでおり、論文掲載という見える形での業績は出せなかったものの、大きく先進したと確信している。</p> | | | | | | |
| 2. 研究成果実績の概要 (英訳) | | | | | | |
| <p>The aim of this project was to examine Locke's conceptualization of aliens, especially in the Two Treatises of Government, and to explore its implications for contemporary issues concerning immigration. More historically, the research also looked at how Locke's discussion fitted in with others in the history of political thought. And more internally, it consider what his thoughts on aliens implied for his discussion on punishment.</p> <p>The research resulted in a paper, which was submitted but rejected. Based on the comments, the paper was revised and was prepared for a conference, but the conference was postponed/cancelled due to the developing coronavirus situation.</p> <p>While the research has not yet been published, significant progress was made.</p> | | | | | | |
| 3. 本研究課題に関する発表 | | | | | | |
| 発表者氏名 (著者・講演者) | 発表課題名 (著書名・演題) | 発表学術誌名 (著書発行所・講演学会) | 学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月) | | | |
| 沼尾恵 | ロックと外国人の処罰権をめぐって | 日本イギリス哲学会 | コロナウィルスの影響で中止 | | | |